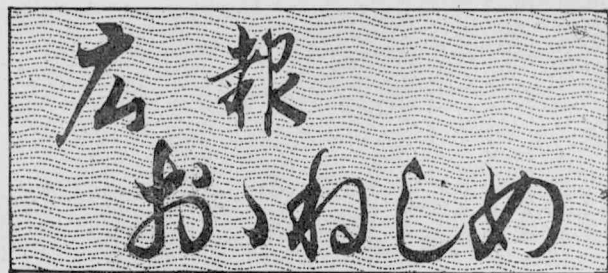


編集と発行 鹿兒島県 肝属郡 大根占町役場
総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69)
印刷 大根占印刷所 (電話 70)

町の人口 (39年1月1日 現在 推計人口)
男6,294人 女7,098人 計13,392人
前の月より3人減



◇うるう年◇

ことは、うるう年で、二月は二九日まである。この日に生まれた赤ちゃんは、四年に一回しか誕生日がない。太陽の回りを地球が一周するのには、三六五・二四二二日かかるので、この端数調整のため、一年三六五日で毎年〇・二四三日分あまり、四回で〇・九六八八日となる。

問題残す経費の負担

高校 統合 県教委、根占町に決定

南大隅高等学校の両校舎統合問題は、昨年九月の広報紙でその経過のあらましをお知らせしましたが、県の教育委員会は、一月二日両町の町長、議長の来訪を求め、統合校舎位置を根占町に決定したいこと、これに伴う経費の負担について両町の協力を要請しました。以下現在までの経過と、経費負担をめぐる今後の問題点についてお知らせすることとします。

※位置決定までの経過

九月の広報でであらましお知らせしていますが、三十八年六月、鹿兒島市で四ヶ町の町長、議長、県教委の会合があったとき、栗川県教委教育長に高校問題について説明を求めたところ、栗川教育長は「南大隅高、長島高は、いずれも関係町の意見不一致のため第一次急増対策計画にはいれていない。なお、両校舎の統合については現在の両校舎のどちらかに統合する方針で、中間の新しい場所に新設する案は、財政的に無理で、考えていない」と県教委の考えを表明されました。この間、わが町としては議会に、高校統合対策特別委員会を設置、山ノ口方面の水田地帯を候補地として中間地点に新しい学校を建設されるよう運動を進める方針を決め、各方面に働きかけることとなりました。

九月に入って、定例県議会が開かれ、大根占町は前記山ノ口地区を候補地として中間地点に新設すること、根占町は現在の根占校舎の位置に統合することを主張、それぞれ陳情を行いました。

明けて一月八日、栗川県教育長は、町長議長の来訪を求め、「敷地については、県議会の意向を尊重して、統合校舎は、現在の両校舎の位置でなく新しい場所としたい。ついでには、場所の決定は県に任せてもらいたい」ということであり、わが町としては、「県で案があれば内示してもらいたい。なお、即答はできないが、どの位置に決めるとし

ても、その理由を明確に示していただきたい」と申し入れたところ、「両町から県に一任することである」とあれば、県教委にはかつた上で内示する。いずれにしても理由は明らかにする。」という回答を得ました。

そこで町では、九日対策特別委員会を招集、対策を協議し、県の関係方面に、「大根占町内に決定した場合においては、敷地買収などの負担はもちろん、その他、他町には一切迷惑をかけないで新設学校の建設に協力する」という申し入れをしておりました。次いで、一月一七日町議会全員協議会を開き、いよいよ大詰め段階となったので、

1、統合校舎は、新しい場所として三十九年度中に建築を完了すること。
2、新校舎は、すべて鉄筋校舎とすること。
3、敷地は、四ヘクタール以上を確保し、理想の学園を建設すること

※新統合校建設費の負担問題

県教委が示した新統合校の建設計画と両町の負担は、およそ次のようになっています

一、建設計画

鉄筋校舎六四五坪を危険改築、急増対策によって建築するほか、本造校舎七〇〇坪、屋内体操場(講堂)二一〇坪

を要望し、位置の問題は、県立県議会副議長を通じ、県に委任する。旨を県教委に申し入れました。

一月二日県教委は、両町の町長、議長を呼んで、新統合高校の位置を、根占町に決定したい。統合に要する経費のうち

大根占町に一六六六万円、根占町で三五六三万円を負担してもらいたい。ということであり、わが町としては、八日の約束どおり、位置決定の理由を明示してほしい、負担については不公平であるので受諾できない。と回答、県としては、山ノ口、今市とも適地であるが、わずかに今市が優つているという回答がありました。

町としては、早速二日特別委員会を開き、善後策を協議した結果、二三日、県教委に出向

1、位置決定の理由を、明確にすること。
2、示された負担額は、県立移管当時、町と県教委と交換した覚書と照しても矛盾し、かつ不公平な額であるから受諾できない。
3、重ねて申し入れを行ないましたが、栗川教育長は病氣と云うことで不在であった由であります。

定しています。

二、大根占町に対する負担要請額

大根占町に対しては、現在の両校舎の土地、建物を講堂を除き一〇六六万円で購入すること、講堂は無償で譲渡し、そのかわり、新校の講堂建設費のうち六〇〇万円を負担すること、以上で負担額一六六六万円とする。

三、根占町に対する負担要請

新校に移築しない建物を買収すること、移転する校舎の移転費二〇七九万円を負担すること、土地の買収費は根占町の負担とするが、大根占校舎の土地代金は、根占町負担額に充当し差し引くこととする。

整地費などは県が負担するが、県の予定した単価を上まわった分は根占町の負担とする。

以上により負担割合は、

国庫負担 一〇二二万二千元
県費 五五九六万八千
大根占町 一六六六万五千
根占町 三五六三万五千
合計 一億一八四九万円
となつています。

四、残された問題

この案に対し、町では一月二五日、町議会全員協議会を開き、対策を協議しましたが、1、現大根占校舎の土地建物は、全部を町で負担して建設し、県に無償で寄附したものであり、無償で町に譲るべきである。
2、県立移管のとき、県と交換した覚書の事項は、本文で、現大根占校舎の位置、または他大根占町内に統合校舎が建設されることを前提としており、位置を根

占町に決定した現在、その約束によって拘束される取り決めはない。また、町では、統合校舎が大根占町内に建設されれば、土地の提供はもちろん、その他の経費についても他町に迷惑はかけないと、再三申し入れを行っている。従って講堂建設費の約半分に相当する六〇〇万円の負担要請は納得できない。

3、県の示す負担案の中には現根占校舎の校地処分代金は含まれていない。しかも大根占校舎の校地は、大根占町に購入させその代金を根占町の負担額を減額するために充当する計画になっており、公平を欠くも甚だしく、納得できない。

ということで、経費の負担問題については、強硬に県と交渉することを申し合わせました。

二月の節氣は、四日の立春と一九日の雨水がある。立春は陰暦の正月の節で太陽の黄経三十五度に達するときをいい、日の出から日没までの時間は、約一〇時間三〇分である。陰暦の癸丑年といまでもいろいろの行事の起点とされ、この日から数えて八八夜(五月一日ごろ)二二〇日(九月一日ごろ)という節分や 竹青々と雪の中

宿利原小・中学校で

完全給食始まる

宿利原小、中学校の給食室
三五坪と施設設備はこのほど
完成、一月一六日から完全給
食が始まりました。給食室は
七三万五千円で町内の馬込組
施設設備は五三万円で、日本
調理機株式会社からそれぞれ施
したものです。小、中合計

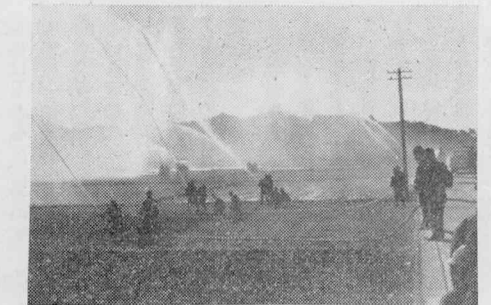
四九〇人、中学校での完全給
食は町内では始めてのこと
で、県下にも例が少ないとい
うです。
写真上、男生徒もエプロン
姿で当番、下、始めての給食
に大喜びの一年生



氏秋夫に厚ケ瀬
消防出初式行なわる

恒例の消防出初式は、一月
六日一〇時から大根占小学
で行なわれました。
観閲、点検、分列行進など
のあと、消防操法、木場上の
水田で放水演習
を実施、次のと
おり表彰が行な
われました。
◎新入団者
中央分団
新田 清武
船倉 義秀
鳥井原光吉
南 富夫
神川分団
神川 政孝
徳永 四男
赤石 常雄
宮崎 誠任
水流 俊昭

池田分団
笹原 貢 笹原 清香
牧原 重実 安水 寿熊
宿利原分団
谷口 盛香 田中 治男



◎消防庁長官賞(退職報償)
二五年以上勤続 岩崎 香
一五年 " 鎌ヶ迫 精市
◎消防協力者表彰
大根占警署自衛消防隊
※中西の火災に率先消火に
協力されたもの
◎県消防協会肝属支部賞
一五年勤続章 有村 辰次
寺田 菊彦 赤石 俊夫
室屋 卯吉 福岡 勇
岩下 光夫 前迫 文哉
一〇年勤続章 馬込 洋海
六反田邦造 落河 昭
垣内不二男 大田中増夫
◎昇任
宿利原分団副分団長
厚ケ瀬秋夫
" 部長 中馬 重夫
" 班長 厚ケ瀬義広
(写真木場上で放水演習)

郷土を豊かに

第2回

今や人生七十年、そ
こで七十まで生きた人
が、一日三回食事をと
るものとすれば、
延べ七万六千六百
五十回いまま、かり
に食事代を百円と
見積もっても、人
間一生の食事代は
七十六万六千五百
円ということにな
る。
要するに人間一
人が食うだけでも
七十六万六千五百
円かかるわけだ。
ある。このほか、三日
に一度は銭湯に行く



世の奥様方へ
白坂 志郎

私 案
して合計六千八百三十三回で約八
万円また、月に一回だけ散髪
するとしても、二十才から七
十才まで計六百回、この代金
十二万円、さらに
「新生」を毎日一箱
ふかすとして、一
万八千二百五十箱、
この代金七十三万五千円だ。さら
に映画代、焼酎代、それに衣
服費、夜具といったものを加
えるとこれだけのことをして

生きているだけで、ざっと一千万
円以上かかる計算となる。
これは、ある雑誌に書いて
あったことであるが、人間食
べたり着たりしなければ、だ
れでも一千万円は貯金ができ
ることになる。仙人のように
雲かカスミを食べて生きてい
れば話は別だが、凡人の私た
ちには、なるほど貯金すること
はむづかしい。でも、ここ
で私が申し上げることは、か
りに、あなたの旦那さまが年
間三十万円のかげぎ高がある
とすれば、銀行利子で逆算し
ていくと、年間三十万円の利
子を生みだす元金は、約六百
万円となる。あなたの旦那さ
まは六百万円もする金の卵を
生む鶏であり、また、あなた
は六百万円也の定期領金を持
っているのと同じことなので
ある。それなりに旦那さまを
「しり」にしたり、あごで
こき使うはもつてのほか、こ
としこそ心気一転、旦那さま
にやさしくなれば、旦那さま
も一生けんめい元金がふえ
るよう頑張られるのである。
こう考えれば、貯金という
ものはたのしいものであり、
夫婦協力して貯金に精出すこ
とは、町長さんの提唱されて
いる町づくり、人づくりの意
にも副うものと信じているの
である。
(庵児島銀行支店長)

式人

一一五人が大人の仲間入り

ことしの成人式は、一
月一五日高校講堂で開催
され、男五七人、女五八
人が新しくおとなの仲
間入りをし、祝福とほげまし
の言葉を受けました。一同を
代表して小倉修一君(旭町)
が誓いの言葉を述べたあと、



交通安全
シリーズ

「駐車」とは、車が客待ちや貨
物の積みおろし、車の故障などで
引き続き止まること。または、車
を止めて運転者がその車から離れ
すぐに運転ができない状態にある
場合をいいます。

すぐに運転をすることができる
状態とは、たとえば、たばこ屋の
店先に車を止め、車から降りてた
ばこを買うような場合、その車が
交通の妨害になるときは、すぐに
移動することができるような状態
をいいます。

また、すぐに運転できる状態(運
転者が車にいるような場合)であ
れば、長い時間止めていても、
駐車にならないのではないかと
いう疑問が生じますが、荷物の積み

「駐 車」

その2

おろしのための停車が5分以内に
定めてある意味からしても、たと
え運転者がそこにいても5分をこ
えるものは駐車になります。

駐車を道路の左端に

駐車を禁止されていない場所
でも、車を止める場合、その車の右
側に 3.5メートル以上の余地が
ないとき、すなわち狭い道路では
駐車できません。

しかしそのような狭い道路でも
傷病者などの救護をするため止め
る場合や荷物の積みおろしで運転
者がその車から離れないときは駐
車ができます。なお、駐車する
ときは道路の左側端にそって駐車し
なければなりません。

→大根占警察署=

住所、内容をはつきりと
戸籍などの手続き
ことしも新卒者が町外へ就
職される時期になりました。
就職して、よく役場へ証明
などの書類を請求されるとき
手紙の内容がはつきりしない
ので困ることがあります。

1、必要な書類の種類をはつき
り示すこと、戸籍、住民
登録の別、謄本か、抄本か
の別、証明事項など提出先
や利用のしかたで違います
2、住所を、番地、住戸番号

◎本町の長浜インさんが死亡
され、遺族から香典返しに
代えて三千元を社会福祉事
業に寄付されました。
◎瀬戸山の某戦争未亡人は、
戦後の苦しいときを子ども
とともに世間のお世話にな
ったが、子どもも大きくな
ったので、困っている人の
ためにと一八〇〇円を寄附
されました。

3、手数料は、送料を含めて
かわせか郵便切手(収入印
紙はいけません)を同封し
てください。手数料は謄抄
本とも一枚につき四〇円で
す。



話題

二つ

体験談の発表など

農業振興大会開く

三十八年度の町農業振興大会は一月二十四日、高校講堂で行なわれ、

○甘しよの多収かく技術

宮崎市新農業技術クラブ

清水 良一さん

○たばこ専業化の構想

志布志町(たばこ作で二〇〇〇万円の粗収益者)

水上 常徳さん

の講演がありました。経営者に身をもつて、実践、経営された体験談だけに、参加者に深い感銘を与えました。

このあと、各種表彰がありました。おまな入賞者は、次のとおりです。

◎早期水稲苗代品評会

一等 川 南 押領司光夫

二 段旭 永田道則 寺田

藤彦 吉山藤巳 川越慶三

川越操 皆倉文三

◎早期水稲競作会

一等 壹 崎 壹崎 勇夫

二 壹崎末夫 馬込照美 壹

崎英二 鈴辰巳

◎水稲二期作競作会

一等 大橋上 川越 鶴吉

二 上鶴金助 飯屋吉彦

◎きぬさやえんどう共進会

一等 鳥井戸 吉山 藤巳

二 仲川中 宮園 誠任

◎草蒲清彦 新原正代 永

田盛吉 坂下すえ 野間熊猷

◎オランダえんどう共進会

一等 宮脇 谷村 利幸

二 瀬戸山 落司 信夫

◎永田喜義 前田幸江

木下登

◎てんさい競作会

一等 壹 崎 壹崎 実義

二 大尾 落河 清志

◎瀬戸山 落司 信夫

二 等壹崎勇夫 馬込幸夫 福

永末吉 永田清彦 白井重則

羽島信義 大園武夫

◎みかん幼稚園品評会

一等 鳥 浜 前田 正人

二 神川上 新原 兵介

◎長元幹夫 永田清彦 飯

屋みちえ 今村集美 鳥越繁

◎紅茶幼木園品評会

一等 塩 屋 鳥越 いさ

二 等小脇清彦 鳥越光弘

◎葉たばこ総収納代金

一等 瀬戸山 遊喜 好彦

二 等安水ミツ 厚ケ瀬博 白

井ツル 徳永幸助 押領司才

◎葉たばこキロ当り代金

一等 上之字都 山中 栄

二 草蒲哲郎 赤石益夫 福

岡正男

◎葉たばこ一〇アール当代金

一等 上之字都 福岡 勇

二 横山真 遊喜好彦 山中

栄 (写真は、振興大会)

地区たばこ耕作組合大根占

支所の葉たばこ一億四突破祝

賀、一三〇ヘクタール期成大

会が一月十七日

葉たばこ収納所

で開かれまし

一月末現在、

組合でとりま

めた計画は(一)

は前年

面積 一三六ヘ

クタール

(一一四ヘクタ

ール)

人員 四一一人

(三九八)

量目 三四万K

(二八万五千K)

代金 一億七三

四〇万円

(一億四二三万円)

一〇アール当り

量目 二五〇キロ(同)

代金 一二万七五〇〇円

故障車運転

前方注視違反

無免許運転

スピード違反

積載不適当

優先通行違反

違反なし

歩行者の方は車の直前横断

目標 1億7340万円

と目 たいばこ期成大開催

量目 三四万K

(二八万五千K)

代金 一億七三

四〇万円

(一億四二三万円)

一〇アール当り

量目 二五〇キロ(同)

代金 一二万七五〇〇円

故障車運転

前方注視違反

無免許運転

スピード違反

積載不適当

優先通行違反

違反なし

歩行者の方は車の直前横断

が七件、立話一件、違反なし

一件以上のとおりで、月

別で発生件数の多いのは十二

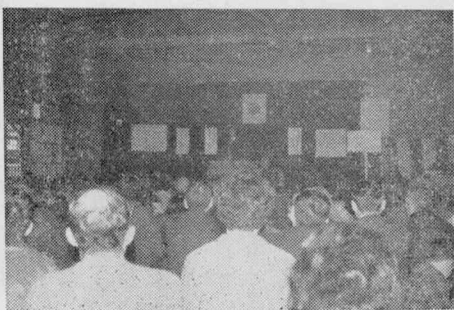
月で重大な事故が五件(内二

(二二万四八八七円)

キロ当り代金四九九円

(五一〇円)

(写真は、その期成大)



こと 困る 今年、とくに交通事故による死亡事故を無くするためにご協力をお願いします。自転車は乗つても降りても左側を

従来自転車は、乗つたら左側を降りたら右側とされていま

(大根占警察署)



前年より少くなる 昨年中の交通事故

昭和三十八年中に発生した大根占警察管内の交通事故は(カッコ内は前年度)

発生 二二件 (二七件)

死者 二名 (三名)

傷者 一九名 (二十名)

で前年度にくらべて減っています。これを則別に見ますと

発生 死者 傷者

大根占町 八 一 四

根占町 六 〇 七

田代町 四 〇 四

佐多町 四 一 四

計 二二 二 一九

となつています。

次に事故に係した車両は二

九台で内訳は

単 車 一〇台

(内二種八台)

トラク 九台

(小型を含む)



戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

38年中取扱件数

(住民登録関係) (戸籍関係)

転出91世帯 992人	結婚 出生 死亡
転入90 " 796 "	窓口149 277 105
町外居住者で住所 郵送227 169 39	
を変わった人1115人	計 376 446 144

※町外での件数、とくに結婚、出生が、目立って多くなっています。

中旬から暖かくなる。

2、3、4月の天候予報

☆気温と寒さ 上旬は時々寒さのきびしい日があります。中旬以後は例年より高めで、寒さはしのぎやすいでしょう。3月は気温の変動が大きく、一時寒さのもどりがありますが半ばすぎには、急に暖かくなります。

☆雨と雪 雨は2月は少な目ですが、4月は多くなる見込みです。山ぞいでは、今後1〜2回雪の降ることがあります。

☆異常乾燥と晩霜 2月は空気が乾燥しやすいですが、例年より弱いでしょう。また、3月は霜のおりる日は例年より少ない見込みです。

※2月 上旬は冬の気圧配置で、時々季節風が強くなり、しづめる日があります。中旬以後は天気は周期的に変わり、天気のくずれは小さく、晴れの日が多くなり、月平均では高目、雨は少く日照は多い見込み

※3月 天気は、周期的にくずれ、低気圧の通過したあとは、時々弱い冬の気圧配置になります。気温は変動が大きく、高い期間と低い期間がありますが、月の平均では平年並で、雨と日照もほぼ平年並

※4月 天気は周期的にくずれ、後半にはぐずつく期間があります。気温は高い期間と低い期間があり、月平均では平年並でしょう。雨はやや多く、日照はやや少ない見込みです。

(鹿児島地方気象台)



※やさしい上旬

果菜類の育苗は保温に注意しましょう。天気が変わりやすいのでビニールの開閉に注意し、コモ掛けは十分にを行い、コモが雨にあわないよう注意しましょう。

さやえんどうの支柱のたおれたものはよく起して風とおしをよくし、ウドンコ病の発生が多いものはカラセソンの撒布をしましょう。

中旬

春ばれいしよの植付を中旬から下旬にいたしましょう。早掘りばれいしよの芽かぎをしましょう。

1株1本から2本残すようにし、芽は根本からかぎ、残す芽を傷つけないようにして土寄せをしましょう。

※みかん

暖冬でみかんも寒害を受けていないが、相当の寒さが来なければ春は訪れないであろうから防寒対策を完備しよう。幼樹が多いので

今月の農作業

暖冬管理をゆだんなく

寒風の当る方向に破風垣を竹イラサ、カヤなどで作るか、葉掛けやコモ掛けをしよう。

寒風に当たると葉が白色になって落ちるので、春芽の伸びが悪いぜび、今ある葉を落さぬよう心がけよう。また、土じょう温度の低下や乾燥を防ぐためにも敷葉をしっかりとしよう。

今月は農閑期であるので樹間の深耕や植穴堀りを行う。

なお、剪定講習会を実施する予定であるから剪定鋏や鋸も手入れしておこう。

※茶

一番茶摘採の能率をあげるよう園相を均一にしておきましょう。

2月から3月上旬にかけて浅く

(深くすると収量が少ない) 剪枝をしておきましょう2月下旬から

3月上旬にかけて1番茶の収量と品質を上げるための施肥時期ですから肥料の準備をしておきましょう。

※畜産

①1月に引き続いて寒さのきびしいときであります。家畜の体が寒さで固くなりすぎ急げきな労働や引運動で思わぬ事故を起しています。それと消化器病の発生も多く飼料と飼付けに充分注意してください。1月中の疾病頭数は牛馬で消化器病15頭事故(死亡を含む)5頭でありました。

②青刈エンバク等の冬期作飼料の追肥は刈り取つたら、すぐやりましょう。

③行事

2月15日仔豚セリ

2月中旬畜産講習会

※甘しよの貯蔵ツボをとときき調べてみましょう。

気温の変化がはげしく、暖かい日が続くと、ツボの中で芽を出すことがあります。芽が出かかっているときは、かぶせる土を少なくしておきましょう。

※早掘り甘しよのふせ込みは、中旬が適期、温度は日中30度、夜も12度以上を保つようにします。



衣類

※買いもののチエ

毛糸の下着類や通学用の防寒着は十分間に合っていますか。暮に買いこねたものでどうしても必要なものがあれば、防寒のもの一掃の売り場で買いましょう。

しかし、値段が安くても寸法が合わないければ、無駄になったり取り替えたりする手間ができてかえって損になります。家族の寸法表をメモにして、バス入れ(10円〜20円)の中に入れて持ち歩いていると便利です。育ちざかりの子どものさんのおうし家庭には、特におすすめします。

首回り、胸回り、胴回り、腰回り、肩幅、胸幅、背幅、背丈、着丈、ゆき、腕回り、手首回りズボンだけ

※毛糸衣類の洗たく法 毛糸編みの衣類は、洗たくのやり方を間違えると、縮んだり色が落ちたりするので、次のことに留意すること。

湯の適温は三十五度前後でこれよりも冷えずと縮み熱すぎると毛糸をいためてしまう。入浴の際の温度が四十二度程度であるから、三十五度程度というぬるま湯ぐらいの熱さです。洗いはじめてから終わりのすすぎまでこの程度の湯で洗うとよれが落ちやすいです。ふろの設備のある家庭では、入浴後の残りのお湯を有効に使い仕上げのとき

奥さまの手帳



住まい

に新しい湯でゆすげばよいのです。洗剤としては、高級アルコール系中性洗剤がよく、アルカリがはいっていると、縮んでしましますし石油系のものですと、毛糸の石油系がとれずぎてよくありません。洗い方は軽く押し洗いをしよこれのひどいところはハケでたたき洗いをします。ねじりながらしぼったり、こするのは禁物。最後にタオルで水気を吸いとり、型を整えてから日かげ干しにします。

★越冬ハエの退治には絶好の時期です。茶の間とか居間の天井を見上げてごらんください。

何びきかのハエがびつたりとくっついて、ぬくぬく暖まっています。これが夏になると数の知れないほどにふえて飛び回りますから、お元気のよい日に納屋や天井に殺虫剤をふきかけておきましょう。

★空気が乾燥しているので、火事が出ると大きくなります。次の点を特に守ってください。

●カマドの残り火、たき火のあと仕末には水をかける。

●練炭の取り灰は金属性のバケツに一日おいてから捨てる。

●石油コンロやストーブに油を注ぐときは必ず火を消してから。ガラストープは、寝る前に元栓をしめること。

●プロパンガスは湿気や火気のあるところには置かないようにしましょう。

お知らせ板

◎小学校の新入生について

ことし四月に入學予定の児童数は、次のとおりです。

男	女	計
大根占	七〇	一四六
神川	四八	九六
宿利原	三〇	五五
池田	二四	四四
計	一七八	一六三

◎建設省産業開発

一、幹部隊員(二五人) 対象 青年隊員の指導者、建設事業の施工管理に従事しようとする人

資格 二二才〜二十七才の男子、短大卒以上

二、一般隊員(一〇〇人) 対象 建設事業の施工に従事しようとする人

資格 一八才〜二三才の独身男子、高校卒、または中卒者で選考に合格した人

三、申込期日 二月末日まで

四、その他 訓練期間は、一年、建設技術、一般教養、専門(機械、施工管理科)の科目訓練と、実地派遣等、経費、訓練に必要な経費は国庫負担、本人負担は、食費一日一八〇円程度と日

用雑費だけ、(月額六千円〜七千五百円)実地派遣期間中(約四〜六ヶ月)は賃金支給

◎県拓殖講習所本科

講習生募集

一、人員 五〇人 一八才から二五才までの男子、高校卒(見込を含む) 農業経験者

二、資格、学校長、町長の推薦者、健康で、体重五〇キロ、身長一五五センチ、胸囲七八センチ以上

三、講習期間 一年(六ヶ月に短縮されることもある)

四、講習内容 一般教養、農業(機械、電気、測量、農業土木、経営、育種、その他)自動車、トラクターの運転整備等

五、経費、全部(食費を含む)無料、全員寄宿舎に収容

六、申し込み 二月二〇日まで役場を経由して講習所へ

七、選考 三月五日面接選考と体格検査、合格発表は三月一〇日

八、くわしくは、日置郡東市来町長里六〇四一鹿児島県拓殖講習所へか経済課へ

◎所得税の確定申告

確定申告書の提出期間は、16日から3月16日までです。給与等にかかる源泉徴収税額の還付は、1日から税務署の窓口で相談に応じます。20日までに申告書を提出された方は2月中旬に還付します。

(鹿児島県庁)